

みんなのSmile便り ☺



当院では救急車を受け入れています。ご協力をよろしくお願いいたします...

お知らせ

みなさん、体調は崩されていないでしょうか。インフルエンザのピークも過ぎ、花粉症が辛い時期です。さて、4月をもってきくち総合診療クリニックは丸2年を迎えます。総合診療・救急診療を通じて、地域医療に最大限に貢献していく使命です。いつでもなんでも誰でも診てくれる「かかりつけ」です。今後ともよろしくお願いいたします。

院長 菊池大和

**GWも診療いたします。
(小児も診療いたします)**

3月1日から、小学生以上のお子様は時間に関係なく診療いたします。(平日9時~)

突然の熱や腹痛など、診療いたします。

花粉症を乗り切ろう！

日本人の約4人に一人が花粉症と言われている現代、花粉症の人もそうでない人も、日頃から自分のできる花粉症対策をして、辛い季節を乗り切りたいですね。

当院ではView399というアレルギー検査をすることができます。花粉症の人、そうでない人も、まずは自分にアレルギーがあるのかわかることから始めてみるのもいいのかもしれない。

花粉症治療の基本は対症療法です。まだ症状が辛い方も、早めの受診を検討してみてください。

早期にしっかり予防策をとるとともに、重症化を防ぎ、辛い症状を乗り切りましょう。

今からしっかり紫外線ケアを

紫外線は一年中降り注いでいますが、今の時期からしっかりと紫外線ケアを取り入れた方が安心です。

紫外線を浴びてしまうことで、乾燥や白内障、皮膚ガン、免疫力の低下など、様々な悪影響があるのが分かってきています。また、選ぶ日焼け止めはSPF値が高い方が効きそう...と思われがちですが、SPF値が高い分、紫外線吸収剤の量が多く配合されているため、肌への負担も相応に増します。ぜひ用途に合わせて使い分けてみてください。

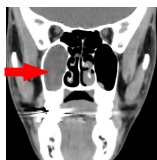
*当院での画像診断例...副鼻腔炎(蓄膿症)

風邪・花粉・カビなどの原因により、鼻の入り口の鼻腔が炎症しその症状が長引くと、鼻の奥の副鼻腔に炎症が起こります。さらに、副鼻腔の炎症が長引くと炎症部分に膿(うみ)が発生。この状態がいわゆる蓄膿症と呼ばれます。

CT検査は病気の早期発見に欠かせません！



副鼻腔炎の症状 ... 鼻水・鼻づまり・痛み・嗅覚障害



治療前



治療後6ヶ月後

➡の部分副鼻腔(上顎洞)です。治療前のCTでは膿(灰色)が溜まっていますが、治療後6ヶ月のCTでは膿が無くなっているのが分かります。

当院では、呼び出しブザーをご用意しております。

外や車内でお待ち頂くことができますので、ご希望の方は受付にお声がけください。

3月・4月の診療時間変更・休診日

GWの診療時間

3月 18日	~17時まで
29日	休診
30日	休診
4月 15日	~17時まで

4月27~30日	~18時まで
5月 1日	~13時まで
2日	休診
3~6日	~18時まで

SPF10~20 : 日常生活
 SPF20~30 : 屋外での軽いスポーツ、レジャー
 SPF30~40 : 炎天下でのレジャー、マリンスポーツ
 SPF40~50 : 紫外線の非常に強い場所